

処方カレンダーシステムの導入が 与薬関連インシデントに与える影響

中山洋輔[†] 山形真一¹⁾ 川崎恵美²⁾ 桑原貴美子³⁾ 水町純一²⁾
高尾珠江⁴⁾ 鶴崎泰史⁵⁾ 幸邦憲⁶⁾ 中川義浩²⁾

IRYO Vol. 75 No. 1 (81-84) 2021

要 旨

国立病院機構熊本医療センターでは、内・外用薬に関する薬剤関連インシデントの中で与薬時に発生する事例が最も多く、その防止に苦慮してきた。そこで、2015年7月に内・外用薬の処方・服薬状況を電子カルテシステムで一元的かつ経日的に管理できる処方カレンダーシステムを導入した。このシステムは与薬関連インシデントを抑制することを期待して導入したものであり、結果、与薬関連インシデントの発生割合は減少傾向を示したが限定的であり、処方カレンダーシステムは与薬業務におけるルールやマニュアルからの逸脱という人的要因をカバーする機能が弱い、あるいは足りていないことが考えられた。看護師の行う与薬業務の正確性を確保し、よりインシデントを減少させるためには、人的要因に対するインシデント抑制機能も必要となると考えられる。

キーワード 処方カレンダーシステム、与薬関連インシデント、インシデント抑制、電子カルテシステム

緒 言

薬剤関連のヒヤリハット事例は全体の約30%と多く、医療事故においても、7-9%が薬剤関連であること、これが5年にわたりほぼ横ばいで推移していることが日本医療機能評価機構から報告されている (http://www.med-safe.jp/pdf/year_report_2017.pdf, [同_2016.pdf](http://www.med-safe.jp/pdf/year_report_2016.pdf), [同_2015.pdf](http://www.med-safe.jp/pdf/year_report_2015.pdf), [同_2014.pdf](http://www.med-safe.jp/pdf/year_report_2014.pdf), [同_2013.pdf](http://www.med-safe.jp/pdf/year_report_2013.pdf))。これらの状況から、薬剤関連インシデントの発生を抑制することは、医療安全において喫緊の重要課題といえる。

国立病院機構熊本医療センター（当院）では、内・外用薬に関する薬剤関連インシデントの中で与薬時に発生する事例が最も多く、その防止に苦慮してきた。そこで、2015年7月に内・外用薬の、処方・服薬状況を電子カルテシステムで一元的かつ経日的に

国立病院機構熊本医療センター（当院）では、内・外用薬に関する薬剤関連インシデントの中で与薬時に発生する事例が最も多く、その防止に苦慮してきた。そこで、2015年7月に内・外用薬の、処方・服薬状況を電子カルテシステムで一元的かつ経日的に

国立病院機構琉球病院 薬剤科, 1) 国立病院機構沖縄病院 薬剤部, 2) 国立病院機構熊本医療センター 薬剤部, 3) 国立病院機構西別府病院 薬剤部, 4) 国立病院機構長崎医療センター 看護部, 5) 国立病院機構東佐賀病院 薬剤部, 6) 国立病院機構菊池病院 薬剤科 † 薬剤師
著者連絡先: 中山洋輔 国立病院機構琉球病院 薬剤科 〒904-1201 沖縄県国頭郡金武町字金武7958-1
e-mail: nakayama.yosuke.ru@mail.hosp.go.jp
(2019年5月7日受付, 2020年11月13日受理)

Impact of Computed System of Prescription Calendar on the Frequency and Level of Drug-Related Incidents
Yosuke Nakayama[†], Shin-ichi Yamagata¹⁾, Emi Kawasaki²⁾, Kimiko Kuwahara³⁾, Jun-ichi Mizumachi²⁾, Tamae Takao⁴⁾, Yasushi Tsurusaki⁵⁾, Kuninori Yuki⁶⁾ and Yoshihiro Nakagawa²⁾, NHO Ryukyu National Hospital, 1) NHO Okinawa National Hospital, 2) NHO Kumamoto Medical Center, 3) NHO Nishibeppu National Hospital, 4) NHO Nagasaki Medical Center, 5) NHO Higashisaga National Hospital, 6) NHO Kikuchi National Hospital
(Received May 7, 2019, Accepted Nov. 13, 2020)

Key Words : computed system of prescription calendar, drug-related incidents, restraint of incidents, electronic medical record system